

外部評価シートの見方

資料7

総合計画区分					NO.	事業名	事業概要	事業点検の評価項目 (チェックシートによる評価)						年度	実績					計画					総合点	判定	局の方針	局の方針理由等 (縮小・廃止等の場合は、その内容)	担当部署 局 課									
基本目標	基本施策	単位施策	重点プロ	地域				必要性	有効性	効率性	公平性	評価点A	2年度		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	6-8計	5年度	6年度	7年度						8年度	6-8計							
評価対象となる事務の総合計画の区分等が記入されています。					評価対象となる事務事業名が記入されています。		事業開始年度や概要など、事業の主な内容が記入されています。						「事業点検チェックシート」から、各項目の点検結果と評価点A(70点満点)が記入されています。						決算額・予算額の財源の内訳が、国県、市債、一般、その他の区分ごとに記入されています。 ・国 県：国・県からの支出金の額 ・市 債：銀行などからの借金額 ・一 般：一般財源の額 ・その他：その他(使用料等)の収入額					事業点検結果とアウトカムの達成率から総合点が自動入力されています。	C	D	自動判定の結果を踏まえ決定した、局の方針の理由等が記入されています。		削減予定額 ※縮小・廃止等の場合は、現時点で分かる場合は、削減予定額が記入されています。									
													必要性 有効性 効率性 公平性					総額 0 0 0 0 0 0 0 0					一般会計(財源内訳)															
													アウトプット (主な活動指標)					指標名: (単位:) A					年度 実績 計画 2年度 3年度 4年度 5年度							目標の設定方法								
													アウトカム (主な成果指標)					指標名: (単位:) B					目標 実績 達成率 0.0% 0.0% 0.0%							評価点B 0 / 30								

根拠法令等	事業の根拠法令等が記入されています。
類似事業	対象者や目的が同一または類似の事業が記入されています。
直近の改善状況	事務の効率化や事業手段の見直し、事業の統合などを行っている場合、その内容が記入されています。
課題等	事業を推進するうえでの課題等が記入されています。
その他補足事項	その他補足事項が記入されています。

図表、写真等の資料、補足事項が記入されています。

A~Dの見方

A

主な活動指標と、その目標値・実績値が記入されています。
 ※活動指標とは、事業を実際に執行した際の活動実績を表した数値です。
 ※目標値の設定がなじまない事業(例:救急患者の数など)については、実績値を目標値としています。

B

主な成果指標と、その目標値・実績値が記入されています。
 ただし、一部については数値化が困難なため、事業の目的などを文言で記入しています。
 ※成果指標とは、行政活動を実行することにより得られた成果を明確にした数値です。
 ※目標値の設定がなじまない事業については、活動指標と同様に実績値を目標値としています。
 各年度アウトカム達成率×10点(30点満点)で評価点Bが自動入力されています。
 ※成果指標の数値化が困難な場合は、自己評価(30点満点)により評価点Bが記入されています。

C

総合点をもとに事業の判定が自動入力されています。
 ◎:80~100点、○:60~79点、△:40~59点、×:0~39点

D

自動判定を踏まえ、決定した局の方針が記入されています。
 【A 継続】
 ・継続して事業を実施
 【B 見直し】
 ・事業の実施方法等を見直す必要がある
 【C 統合】
 ・事業の統合を検討すべき
 【D 縮小】
 ・事業規模を縮小する必要がある
 【E 休止】
 ・制度は必要だが、事業を休止すべき
 【F 廃止】
 ・制度自体を廃止すべき
 【G 終了】
 ・事業の終りに合わせて、終了すべき

事業点検チェックシート

NO.	事業名	評価項目			評価	点数	判定	評価項目			評価	点数	判定	評価項目			評価	点数	判定	合計点	担当部署	担当者	連絡先
		事業の必要性	市の関与	事業の達成状況				事業実施手法	受益者の偏り														
00		① [事業の必要性] ・市民ニーズや社会経済状況の変化に照らして、事業の必要性は高いか A (5) 非常に必要性が高い B (3) ある程度必要性は高い C (1) あまり必要性は高くない D (0) 優先度は低い ② [課題解決の貢献] ・市民等の課題解決に貢献しているか、もしくは、行政内部の課題解決に貢献しているか A (5) 十分貢献している B (3) 概ね貢献している C (1) やや貢献度に欠ける D (0) 貢献していない	① [市の役割] ・国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか A (5) 法律等で義務付けられている B (3) 義務付けはないが、市で実施することが望ましい C (1) 見直しの余地がある D (0) 実施する必要がない ② [類似事業等の状況] ・国、県、民間等で類似の事業やサービスを提供していないか A (5) 市以外に実施主体はない B (3) 類似のものがあるが、市で実施することが望ましい C (1) 類似のものがあり、検討の余地がある D (0) 不明、又は類似のものがあり市が実施する必要がない	① [事業の達成状況] ・事業のアウトカム(成果指標)の達成状況は順調か A (5) 十分に達成している B (3) 概ね達成している C (1) あまり順調でない ② [実施等での位置付け] ・政策・施策において優先度の高い事業か A (5) 非常に優先度が高い B (3) ある程度優先度は高い C (1) あまり優先度は高くない D (0) 優先度は低い	0	×	① [事業実施手法] ・事業実施手法は妥当か (契約方法や仕様、事務手続の見直し、民間委託、ICT活用などによる事務改善、業務効率化の余地があるか) A (5) 現状が最適である B (3) 現状が望ましい C (1) 見直し検討の余地がある D (0) 見直しする必要がある ② [費用対効果] ・事業の実施に要する労力や費用に見合う効果を上げているか A (5) 現状が最適である B (3) 現状が望ましい C (1) 見直し検討の余地がある D (0) 見直しする必要がある	0	×	① [事業統合等] ・類似事業との統合・連携や、事業の縮小、廃止を行う余地があるか A (5) 統合等はできない B (3) 概ね効率的にできている C (1) 統合等検討の余地がある D (0) 統合等を行う必要がある ② [コスト削減] ・委託や指定管理者制度などの民間活用や、ICT活用、業務効率化によりコストを削減できる余地があるか A (5) 現状が最適である B (3) 現状が望ましい C (1) 削減検討の余地がある D (0) 削減する必要がある	0	×	① [受益者の偏り] ・事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか A (5) 極めて公平性が高い B (3) 概ね公平性が保たれている C (1) 偏っている D (0) 公平性を欠いている ② [受益者負担の適正化] ・事業実施の財源として、受益者負担割合(一般財源負担金割合)は妥当か ※補助金交付事業の場合、対象経費や市の補助割合は妥当か A (5) 適正な負担割合である、又は受益者負担はない B (3) 概ね適正な負担割合である C (1) 適正化検討の余地がある D (0) 適正化する必要がある	0	×	0							

各評価項目に対する評価(A、B、C、D)が記入され、評価をもとに点数と判定が自動入力されています。

【評価】
A:5点、B:3点、C:1点、D:0点

【判定】
◎:8~10点、○:5~7点、△:2~4点、×:0~1点

各評価項目に対して、上記評価(A、B、C、D)とした理由等について記入されています。

評価に関する説明(上記の評価とした理由等)

事業の必要性	① [事業の必要性] ・市民ニーズや社会経済状況の変化に照らして、事業の必要性は高いか	① [事業の達成状況] ・事業のアウトカム(成果指標)の達成状況は順調か	① [事業実施手法] ・事業実施手法は妥当か (契約方法や仕様、事務手続の見直し、民間委託、ICT活用などによる事務改善、業務効率化の余地があるか)	① [受益者の偏り] ・事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか
必要性	② [課題解決の貢献] ・市民等の課題解決に貢献しているか、もしくは、行政内部の課題解決に貢献しているか	② [アウトカムの設定] ・事業成果の向上のため、アウトカム(成果指標)を設定しているか	② [費用対効果] ・事業の実施に要する労力や費用に見合う効果を上げているか	
市の関与	① [市の役割] ・国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	① [施策等への効果] ・上位の政策・施策の目的実現や、市長マニフェスト等の目標達成に効果があるか	① [事業統合等] ・類似事業との統合・連携や、事業の縮小、廃止を行う余地があるか	① [受益者負担の適正化] ・事業実施の財源として、受益者負担割合(一般財源負担金割合)は妥当か ※補助金交付事業の場合、対象経費や市の補助割合は妥当か
	② [類似事業等の状況] ・国、県、民間等で類似の事業やサービスを提供していないか	② [施策等での位置付け] ・政策・施策において優先度の高い事業か	② [コスト削減] ・委託や指定管理者制度などの民間活用や、ICT活用、業務効率化によりコストを削減できる余地があるか	

【事業概要】

・○○○○

【事業評価(案)】⇒○○○○

○○○○

評価シートの局の方針と理由等を記載

インプット

アクティビティ

アウトプット

初期アウトカム

中長期アウトカム

インパクト

コスト（経費）の投入量

具体的な事業内容

事業内容の実績

事業内容の成果
(初期)

事業内容の成果
(中長期)

事業の最終目的、
事業内容による
社会的な影響

年度	実績			計画
	2年度	3年度	4年度	5年度
当初予算額				
補正額				
決算額				
執行率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
内訳	項目			
	コスト			
	項目			
	コスト			
人件費	0	0	0	0
合計 概算コスト	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	0

○○設備の導入
を補助

○○を開催

○○設備導入
件数増

○○の開催

A産業の生産性
(○年度比)
○年度:+○%
○年度:+○%
○年度:+○%

○○の来場者数
○年度:○人
○年度:○人
○年度:○人

○○地区の生産性
(○年度比)
○年度:+○%
○年度:+○%
○年度:+○%

○○地区の活性化

○○地区の人口
増加

事業の予算・決算
額、人件費、主な
内訳を記載

活動内容を
簡潔に記載

- ・事業のもたらす効果・影響が明確に分かるよう記載
- ・把握できるデータに振り回されず、あるべきロジックモデルの流れを検討する。